

平成 17 年度

「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅰ」の出題の趣旨

第1問（配点 10 点）

本問は、インターネットや携帯電話の普及に伴って急速に進化するネットワーク社会の中で成長するW e b ビジネスと、従来型の製造業が展開してきたビジネスモデルの違いに関して、基本的知識の理解を問う問題である。

第2問（配点 15 点）

本問は、W e b ビジネスを展開し短期間で急速に成長を遂げてきたA社の成長の要因に関して、一般環境の変化を除外して考察したとき、保有する経営資源の視点から、どういった強みを持っていたかについての理解を問う問題である。

第3問（配点 30 点）

（設問 1）

本問は、若年の従業員によって構成される知的資源依存型企业であるA社が、その規模の成長に対応して管理施策を導入することによって生じる可能性のある社員の意識の変化についての理解を問う問題である。

（設問 2）

本問は、知的資源依存型企业であるA社の成長に不可欠な創造性や従業員のモラルを損なうことなく、個々人の持てる能力を発揮することのできる状況を維持すると同時に、企業としての組織力を発揮するための統制を行う施策を問う問題である。

第4問（配点 15 点）

本問は、人間関係をベースにして設立されたベンチャー企業であるA社が、その成長に伴って必要となる管理制度を導入する際に生じる可能性のある諸問題に関して、成果主義賃金制度の導入を事例に取り上げて、その理解を問う問題である。

第5問（配点 30 点）

（設問 1）

本問は、ベンチャー企業であるA社が、その成長ステージに応じて経営管理制度を導入していく上で、どういった点に留意し、どういった具体的施策を講じていくべきかについて、その理解を問う問題である。

（設問 2）

本問は、A社が展開するW e b ビジネスを継続的に展開していく上で、直面する可能性のある社内外の制約条件について、認識することができるかどうかを問う問題である。

以上